

施策の大綱

基本的施策

施策のあらまし

施策の展開

キャッチ
フレーズ

人と自然が織りなす角兵衛獅子の里“つきがた”

文化と活力のみなぎる豊かですこやかなつきがたむらの創造

将来像

豊かな心と創造性を
育むひとづくりのむら

- 個性と創造力を育む教育の充実
 - ①幼児教育の充実
 - ②義務教育の充実
 - ③高等教育の充実
- 生きがいのある生涯学習の推進
 - ①生涯学習環境の整備
 - ②生涯学習事業の充実
- 青少年の健全育成
 - ①青少年の健全育成の推進
- 国際交流・地域間交流の促進
 - ①国際交流の促進
 - ②地域間交流の促進
- ともに尊重しあう男女共同参画社会の形成
 - ①男女共同参画社会の促進
- 地域に根ざした文化・スポーツの振興
 - ①芸術・文化の振興
 - ②文化遺産の保全
 - ③スポーツ・レクリエーション活動の振興

いつまでも健康で
暮らせる福祉のむら

- 豊かな暮らしを支える健康づくりの推進
 - ①健康づくりの推進
 - ②保健・医療体制の充実
- ともに支えあう地域福祉の推進
 - ①高齢者福祉の充実
 - ②児童福祉の充実
 - ③障害者（児）福祉の充実
 - ④社会保障制度の充実

安全で快適に暮らせる
環境優先のむら

- 快適なむらを支える基盤の整備
 - ①計画的な土地利用
 - ②街区及び集落の整備
- 豊かな暮らしを支える生活基盤の整備
 - ①上・下水道の整備
 - ②住宅地の供給
- 道路・交通・通信の整備
 - ①道路網の整備
 - ②公共交通機関・通信の整備
- 自然と共生する生活環境の整備
 - ①公園・緑地の整備
 - ②自然保護対策
 - ③ごみ・し尿処理対策とリサイクル
 - ④環境の保全と美化
- 暮らしを守る安全と安心の確保
 - ①災害の予防
 - ②交通安全と防犯対策の推進

活力あふれる
産業振興のむら

- 活力あふれる農業の振興
 - ①農業の振興
- 魅力ある商工業の振興
 - ①商業の振興
 - ②工業の振興
- 交流を促進する観光の振興
 - ①観光資源の活用と振興

みんなで歩む
住民自治のむら

- 住民参加によるむらづくりの推進
 - ①住民参加の促進
 - ②広報・広聴の充実
- 住民に開かれた行財政の推進
 - ①行政運営の充実
 - ②広域行政の展開
 - ③健全な財政運営の推進

月潟村第4次総合開発計画概要

計画策定の趣旨

月潟村は、昭和45年3月に第1次の「月潟村総合開発計画」を策定以来、昭和55年3月、平成3年3月と、3次にわたる総合開発計画を策定して、長期的、総合的なむらづくりを進めてきました。

第3次の「月潟村総合開発計画」は、その将来像「健康で心ふれあう明るく豊かな村」で示されているように、社会基盤整備においては一応の達成を見るに及んでいます。しかし、道路網の整備、下水道の整備、あるいは農業振興、商業振興などの事業においては、まだ目標達成の途中にあり、今後の課題として残されています。

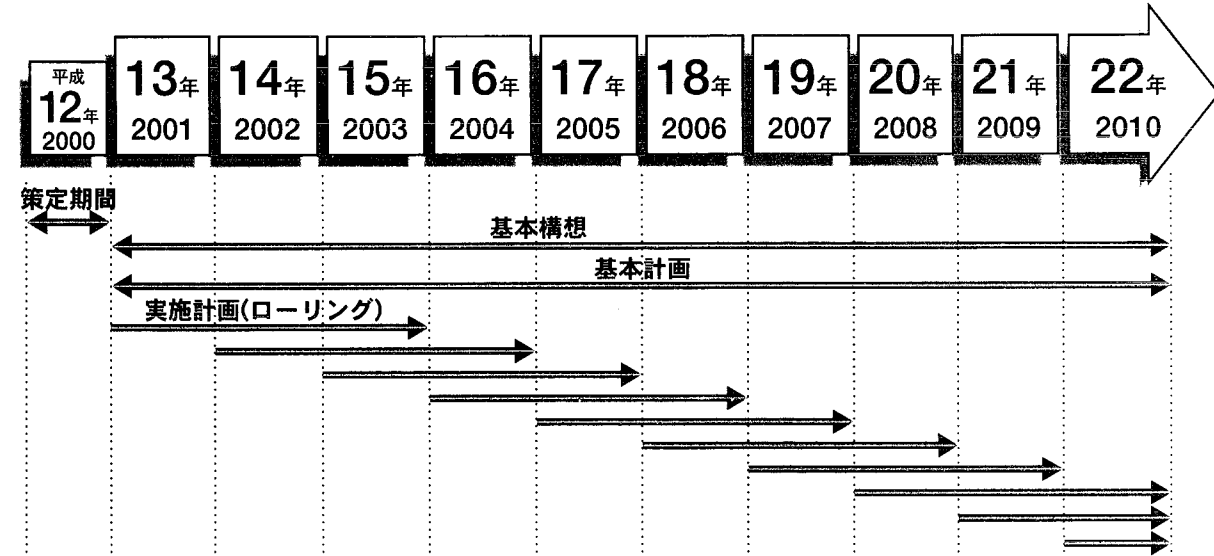
計画策定の後に生じたバブル経済の崩壊は、地方自治体の財政にも影響をおよぼしており、行政運営においてもこれまでのハード施策からソフト施策への転換が要求されてきています。また、社会・経済情勢の変化に対して、行政の事務事業の見直しが迫られています。

平成13年度を初年度とする「月潟村第4次総合開発計画」は、これまでのむらづくりで残された課題を受けついで行くとともに、新たな社会状況を踏まえながら、21世紀初頭の月潟村の姿を描き出していくという使命を担っています。

地方分権による新しい地方自治の流れと、さらに環境との共生、男女共同参画社会の実現、少子高齢化の到来、情報化・国際化の進展など、新たな行政課題に的確に対応できる月潟村を築くための第一歩として、本計画を策定するものです。

計画の期間と構成

本計画は、20世紀末から21世紀初頭にわたるものであり、平成13年度を初年度とし、平成22年度を目標年次とする10カ年計画とします。計画の構成は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」によって構成されます。



将来像・5つの目標

- 豊かな心と創造性を育むひとづくりのむら
- いつまでも健康で暮らせる福祉のむら
- 安全で快適に暮らせる環境優先のむら
- 活力あふれる産業振興のむら
- みんなで歩む住民自治のむら